



# 学校だより

4月号(第556号)

令和4年4月7日

横浜市立すみれが丘小学校

## 学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづけるすみれっ子〉  
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

## 令和4年度 キックオフ！

校長 栗原 信一

花々の香りに春の深まりを感じる季節となりました。

本日、45名のピカピカの新入生がすみれが丘小学校に入学し、全校児童339名で令和4年度のキックオフとなりました。いよいよ新しい教室、新しい友達、新しい先生との一年が始まります。今年度も安心と安全を第一に教職員一同、すみれっ子の健全育成に努めてまいります。



さて、先月、行われたFIFAサッカーワールドカップのアジア最終予選において、日本が7大会連続7回目の出場を決めたことは記憶に新しいところです。暗いニュースが多い昨今、サッカー好きの私にとっては何ともうれしいニュースでした。今から約30年前、日本代表の森保監督は、私の大好きな選手の一人でした。奇しくも今年ワールドカップが開催されるカタールは、日本サッカー界にとってドーハの悲劇としてあまりにも有名な場所です。当時の森保監督は日本代表の守備的ミッドフィルダーとして活躍していた選手で、日本人の平均的な体格で決して目立つ選手ではありませんでしたが、そのポジショニングと絶妙なタイミングで、フィジカルで勝る相手の攻撃を次々と食い止める、そんなプレイヤーでした。当時の日本代表にとって森保選手は、チームに欠かせない存在であったことは言うまでもありません。解説者が当時の森保選手を、「相手の攻撃の芽を摘み取る献身的な選手」と表現していたのを思い出します。得点を挙げるスター選手もいれば、献身的に相手ボールをひたむきに奪う選手もいる。そんなチームワークの大切さを教えてくれた森保選手でした。今年11月に開幕するワールドカップ、森保ジャパンの活躍が今から楽しみです。

学校も一つのチームです。地域、保護者の皆様、そして学校が三位一体となって、よいチームワークを作り上げることが大切だと考えます。今年度も情報を積極的に公開しながら、すみれっ子の幸せのためにみなさんとONEチームとなって学校運営に取り組んでいきたいと思えます。

今年度から3か年(R4～6年度)の中期学校経営方針が始動します。これまでのすみれが丘小学校の伝統を大切にしながら、学校教育目標の具現化に向けて努めて行きたいと思えます。詳細は、整い次第学校ホームページに掲載させていただきます。

令和4年度、創立47年目のすみれが丘小学校の新たなスタートとなります。今年度もすみれが丘小学校をどうぞ、よろしくお願いいたします。

## すみれが丘小学校 学校教育目標

- すすんで … 主体的学び、活動できる児童を育成します。
- みんな … 対話的な学びを促し、コミュニケーションを大切にしながら共に学ぶ児童を育成します。
- れいをつくして … あいさつ、礼儀を大切に、気持ちのよい学校生活を送れる児童を育成します。
- がんばりつづけて … 継続を大切にしながら、あきらめずに頑張りを続ける児童を育成します。
- おもいあって … 相手意識をもち、やさしく、そしてお互いを認め合える児童を育成します。
- かがやきつづけるすみれっ子 … 一人ひとりが大切にされ、笑顔が輝く学校を目指します。